

第5回 龍郷町子ども博物学士講座

野鳥の楽園!奄美大島～渡り鳥～



第5回龍郷町子ども博物学士講座は、12月16日(土曜日)、「野鳥の楽園!奄美大島～渡り鳥～」と題し、奄美野鳥の会 鳥飼久裕さんを講師にお招きし実施いたしました。この日は、時々小雨のふる生憎の天気となりましたが、子どもたちは座学と双眼鏡を使ったバードウォッチングに夢中になっていました。今回の講座に参加した赤徳小2年の羽生しゅうごさんは「さんごとか海の生物を大事にしようと思った」、龍郷小6年の吉野蒼依さんは「渡り鳥にとって奄美大島は、なくてはならない場所で、夏鳥・冬鳥・旅鳥が訪れるのには、それぞれ目的があるので、鳥たちのために自然を残していきたいと思った。」と感想を述べました。また、大勝小3年の中崎千尋さんは「日本に確認されている鳥の半分が奄美大島にいることを知っておどろいた」と感想を述べました。鳥飼久裕先生は、「留鳥・夏鳥・冬鳥・迷鳥等、様々な鳥が奄美で生息(滞在)しており、重要な場所となっている。この素晴らしい環境は、まさに野鳥の楽園であり世界に誇れることだ」と話しました。「奄美に住む誰もが知っていそうで何気に知らない知識」、今回の学びも、自分たちの住む奄美を見つめ直すきっかけとなって貰えればと思います。次の第6回講座は、2月3日(土曜日)、「閉講式及び奄美トレイル散策(仮)」と題し、講師に奄美自然観察の森 川畑 力氏をお招きし実施いたします。たくさんの参加をお待ちしております。

講座参加者数:60名(うち、児童生徒名35名 保護者23名 未就学児2名)